

創業支援の取組みについて

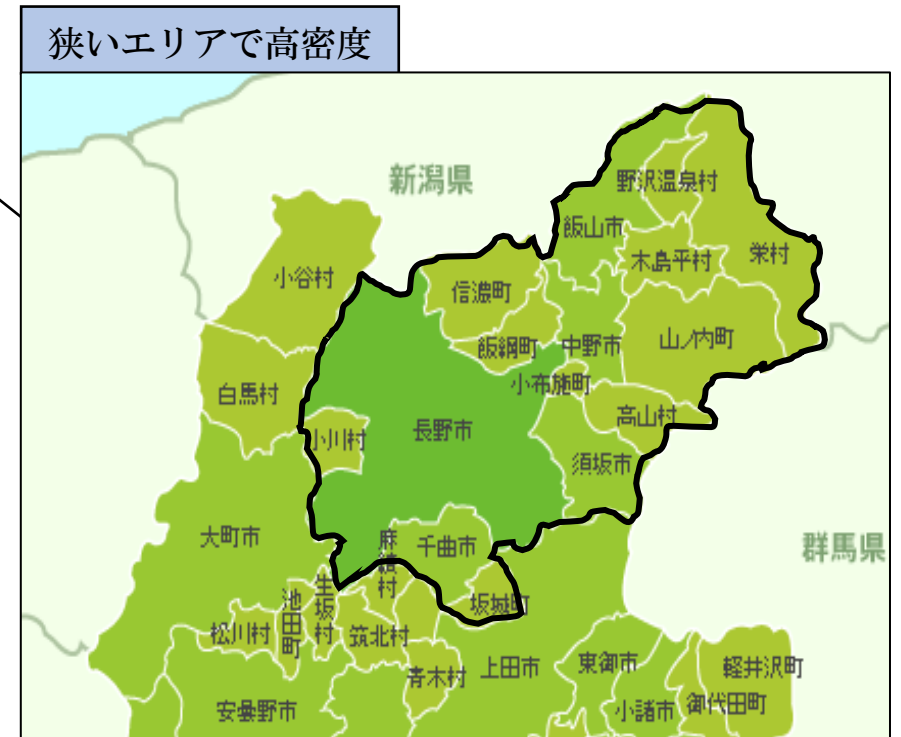


長野信用金庫

◆ 長野信用金庫について

本店所在地	長野市居町133番地1
創立	1923(大正12)年9月1日
店舗数	北信地方に38店舗
役職員数	558名
出資金	22億81百万円
自己資本比率	22.61%
預金残高	9,032億円
貸金残高	3,705億円
経営理念	健全経営に徹し、豊かな地域社会づくりに貢献する

北信地方に密着



(2025年9月30日現在)

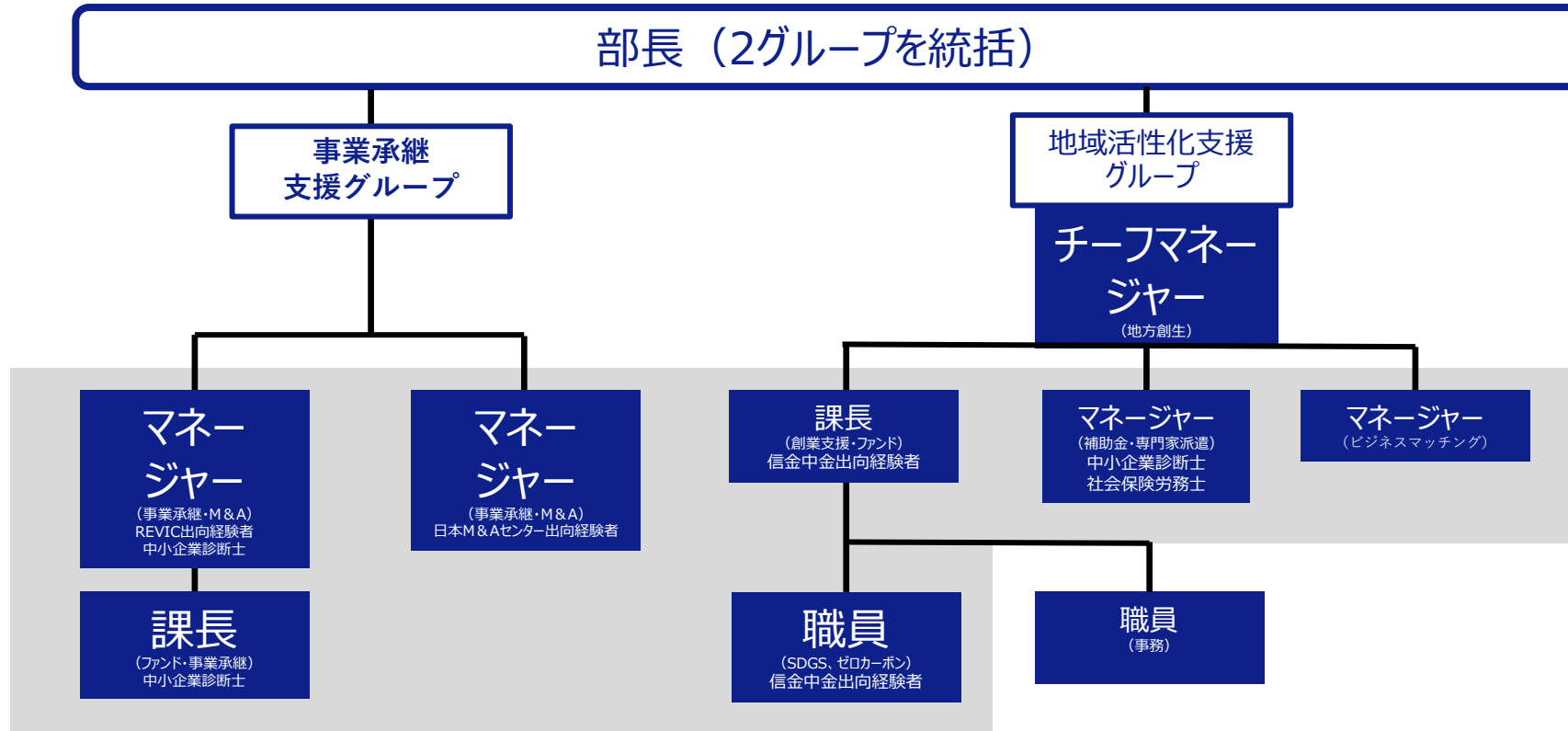


長野信用金庫 地域みらい応援部

【Point】 専門性の高いスタッフが、地域や事業者の課題の解決をサポート

俯瞰図

は、ミセサポ対応職員（カッコ）は主な担当業務を示します。



地域みらい応援部とは？

- ・課題解決型金融の実践による本業支援と営業推進を一体化することでシナジー効果を生み、お客様の事業価値向上に資するとともに地域経済における存在意義を高めるために創部。
- ・事業承継、創業支援（しんみせ応援プロジェクト）、後継者の育成（ニューリーダーゼミナール）など様々な支援策を展開。
- ・営業店得意先課との同行訪問スキーム（ミセサポ）により、営業力強化を実現し、質の高いソリューション提供を目指している。



創業支援事業
「しんみせ応援プロジェクト」
について

須坂市
SuzakaCity

北信州
木島平村

飯綱町

長野信用金庫

清泉大学

◆ しんみせ応援プロジェクトの体制図



◆ しんみせチャレンジ

平成30年4月より毎年開催している「しんみせチャレンジ」は、創業を予定している方・創業後間もない方を対象として、書類選考・創業カレッジ・プレゼンテーション選考を通して、創業される方の事業の実現と継続を目指すプロジェクトです。

[共催] 北信地区全15市町村、長野県信用保証協会、日本政策金融公庫長野支店、長野県よろず支援拠点、清泉大学

[開催回数] 2018～2025 ※2026の開催も決定

[開催時期] 毎年4.1応募開始～12月表彰式

[主な応募資格] 創業前後1年

[カリキュラム] 「創業カレッジ」必修5科目、選択2科目の履修⇨事業計画書作成⇨プレゼン最終選考会

[表彰実績] 申込み244人（頭数241名）うち最終選考合格者63名 <2025年12月末現在>



◆ 創業カレッジ

「創業カレッジ」は「創業前の方」「創業後5年以内程度の方」を対象とした経営知識を学ぶための1コマ2時間の**無料講座**で、6月から9月の3ヵ月間にかけて実施しています。

「しんみせチャレンジ」に参加していなくても、1講座からの受講が可能です。**※オープン参加OK**

経済産業省の**特定創業支援等事業**として北信地区全15市町村から指定を受けています。

[共催]しんみせチャレンジと同じ

[開催回数] 2018～2025 ※2026の開催も決定

[開催時期]毎年6月中旬から9月中旬 3ヵ月

[参加対象]しんみせチャレンジ参加者、創業前、創業後5年以内のオープン参加者 [総受講者数] 465名

[開催方式] 来場とオンラインのハイブリッド受講方式



4月～
「しんみせチャレンジ」応募

6月中旬～9月中「創業カレッジ」受講
必修5科目 6 講座、選択 5 科目 8 講座 <2025年度実績>

～9月末
事業計画書作成完了



POINT1

仲間づくりができる環境！

同時期に創業する仲間と交流ができ、ネットワークが広がります。



POINT2

事業計画書の作成ができる！

必修講座を通して事業計画書を完成できる構成になっています。



◆ アテンド訪問

創業者の事業の持続性を高めることを目的として、金融・行政ペアによる毎月モニタリング訪問によって、課題を抽出し、行政面からの公的支援サービスの提供、まちづくりアテンダントからのソリューション提案ならびに本業支援、金融支援につなげる活動を行っています。

【実施者】 まちづくりアテンダント（地域みらい応援部職員）

【開催年数】 2018～2025 ※2026.1月～スタート

【実施周期】 1月～12月の1年間の毎月モニタリング訪問

【総訪問回数】 583回 ～2025.12

【おもな支援内容】 小規模事業者持続化補助金の書類添削、インスタグラム紹介、専門家・外部機関への取次ぎ
※2024.1月～ 過去「しんみせチャレンジ」参加者への3ヵ月に一度のモニタリング訪問を営業店担当者が行い業況確認。

全217名のうち創業済み192名うち廃業26名 事業継続率86.5%

＜対象：2018～2024年のしんみせチャレンジ参加者、2025年9月末調べ＞



12月

「しんみせチャレンジ」表彰式

1月～12月（毎月）

アテンド訪問

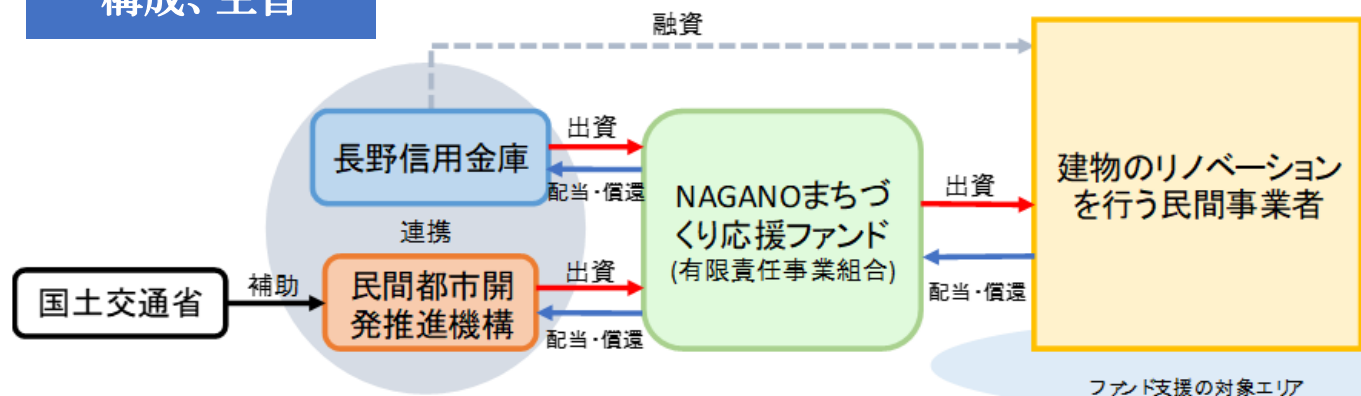
3ヵ月に1回

モニタリング



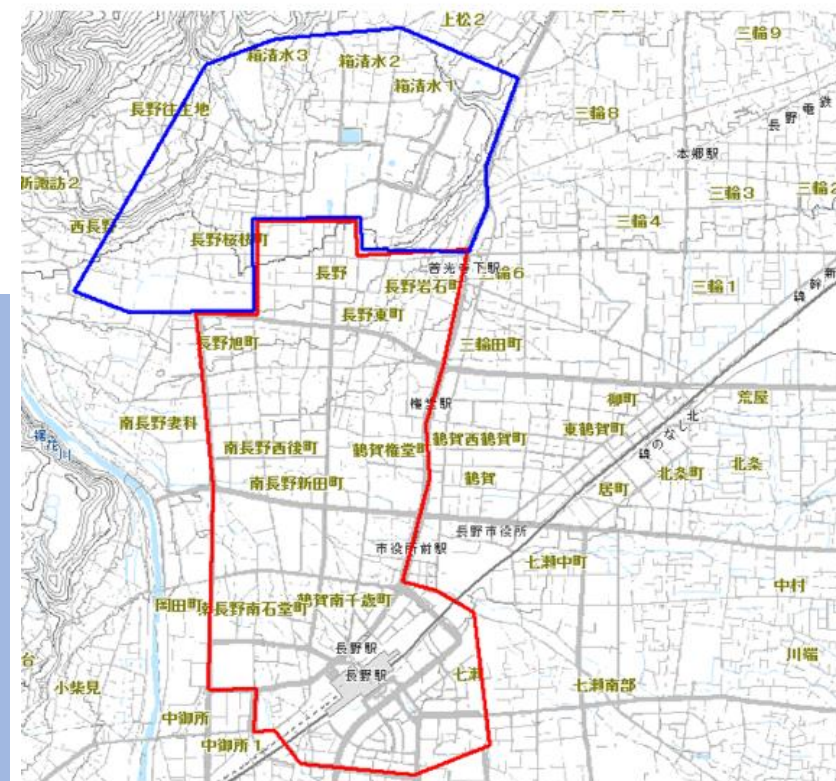
◆ NAGANOまちづくり応援ファンド

構成、主旨



※創業者に限定はしておりません

対象エリア



②「NAGANOまちづくり応援ファンド」の構成

- [形態] 有限責任事業組合(LLP)
- [登記名称] NAGANOまちづくり応援ファンド
- [総額] 80百万円(長野信用金庫出資額40百万円、MINTO機構出資額40百万円)
- [運用期間] 2018.11月から2038.10.31まで
- [投資期間] 最長10年間
- [投資方法] 優先株式引受※・社債引受
- [投資条件] 長野市中心市街地および善光寺周辺において建物のリノベーションを伴う事業であり、かつ、株式会社等であること。投資と同時期に金融機関から融資を受けること。
- [投資限度額] 対象事業の総事業費の3分の2or20百万円のいずれか少ない金額。
投資額の下限は1百万円。

※引受する優先株式は議決権を持ちません。
事業の黒字化に伴い決算時に配当金を徴求します。



NAGANOまちづくり応援ファンド

投資実績

業種	投資時期	投資金額	利回り	対象事業	投資期間
第1号案件 アパレル業	2019. 11月	3,000	優先株式取得約 定利回り2.8%	ジビエ革製品、服 飾品製造販売	10年間
第2号案件 地場リノベ業	2019. 12月	7,500	優先株式取得約 定利回り2.8%	宿泊施設(西長野、 南長野、間後町)	10年間
第3号案件 宿泊業	2024. 10月	7,000	社債取得2.0%	無人宿泊施設	10年間
合 計		17,500			

(単位:千円)





北信まちづくりプラットフォーム





北信まちづくりプラットフォーム

(1) 発足

- ・ 令和元年12月3日「北信14市町村+長野しんきん」地方創生プラットフォーム発足セレモニーにて発足
- ・ 令和2年3月26日、新たに信濃町が加入

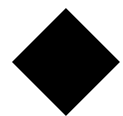
(2) スローガン

- ・ 地方創生の連携協定を締結している北信15市町村と長野信用金庫がone teamとなり、プラットフォームを形成。
- ・ 定期的に行う連絡会議+しんきん職員による担当市町村への定期訪問スキームをプラットフォーム化。
- ・ 情報共有、意見交換、企画立案を重ね連携体制を強化することで、地域の喫緊の課題解決ならびに地域の活性化をめざす。

(3) アクションプラン

- ・ 連絡会議の定期開催
- ・ プラットフォーム全体での地方創生に資する連携事業
※しんみせ応援プロジェクト、セミナーなど
- ・ 各市町村×長野しんきん相対での地方創生に資する連携事業

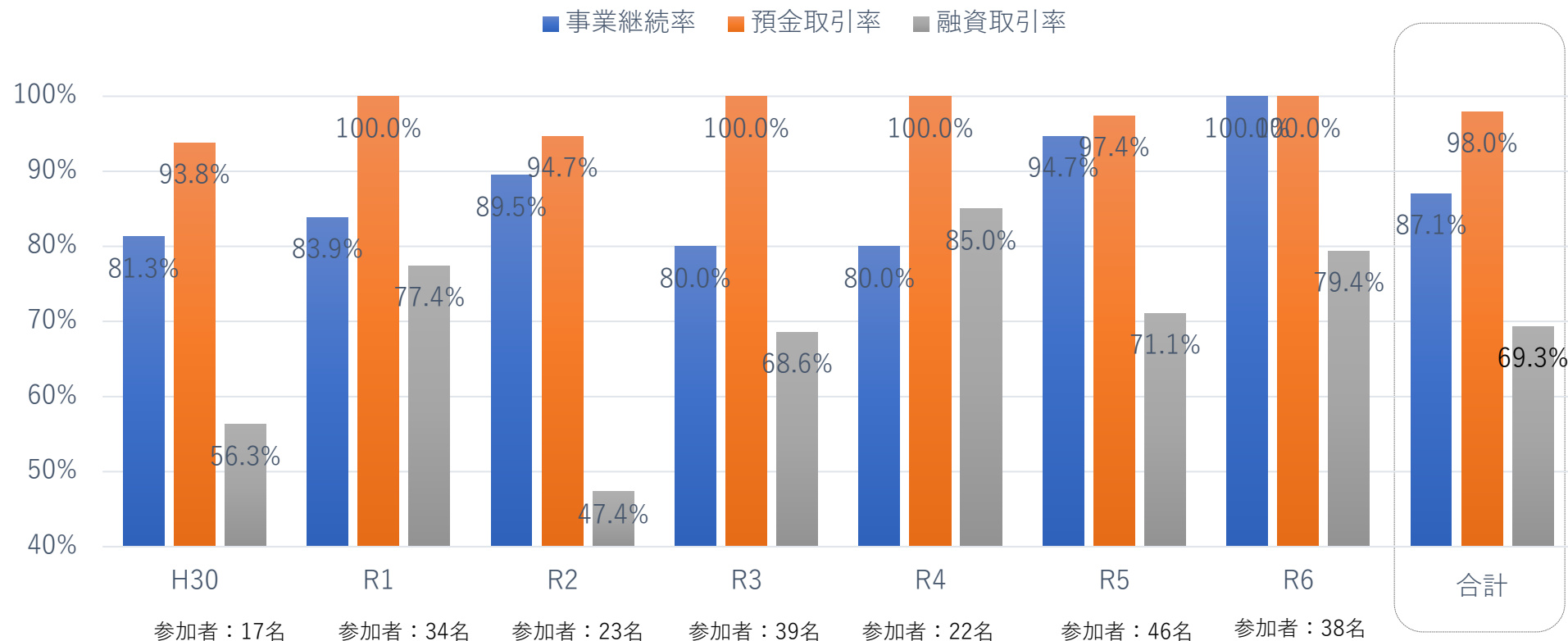




しんみせチャレンジの取組結果

- 過去のしんみせチャレンジ参加者のうち創業に至った事業者の事業継続率は**87.1%**
- 預金取引率は**98.0%**、預金残高**406百万円**（R7年6月）
- 融資取引率は**69.3%**、融資残高**1,091百万円**（同上）

年度別 事業継続率・取引率



◆ しんみせチャレンジに参加した創業者の成長類型

【Point】 生活に密着した関連サービスの創業支援の割合が高い

創業後の成長類型

① 地域コミュニティ型

【件 数】 161件

【構成比】 83%

・地域の生活・コミュニティを下支えするビジネス。

② 地域資源型

【件 数】 27件

【構成比】 14%

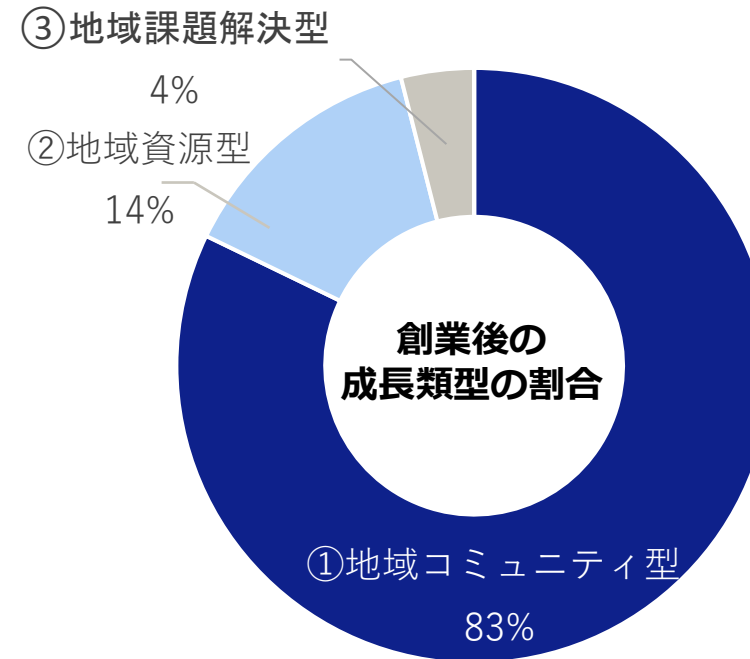
・地域資源を活用した付加価値の高いビジネス。

③ 地域課題解決型

【件 数】 7件

【構成比】 4%

・地域が抱える社会的・経済的課題に対して、事業を通じて解決を目指すビジネス。

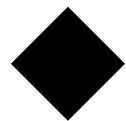


* ④事業拡大型・⑤スタートアップ型に該当するものは、ありませんでした。

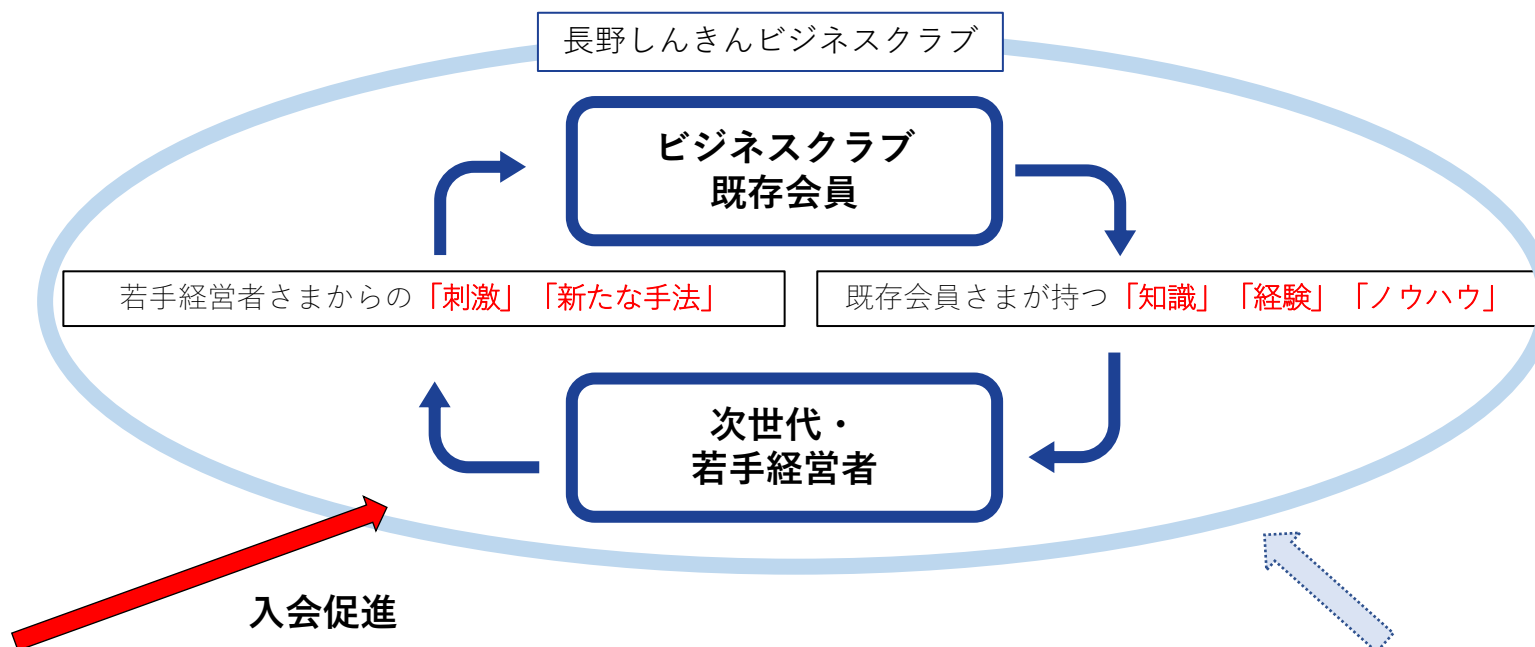
「長野信用金庫で多い成長類型の特徴」

・弊庫の営業エリアである長野県北信地域は、観光業（善光寺・山ノ内のスノーモンキーなど）や小売業・サービス業（りんごや栗などの果樹が有名）の魅力が高く、これらに関連した第三次産業が多くを占めています。

・そのため、創業後の成長類型は①地域コミュニティ型②地域資源型③地域課題解決型で構成されています。一方で、国内市場や世界市場までの成長を見据え経済を牽引する④事業拡大型⑤スタートアップ型に該当する支援実績はございませんでした。



今後の方向性



参加促進

長野しんきんニューリーダーゼミナール

- 平成18年から毎年度開催
(名称変更、コロナによる中止等あり)
- 対象 向上心のある若手経営者・後継者
- R7年度は31名が参加

しんみせチャレンジ、創業カレッジ参加者

- 過去8年間チャレンジ参加者約240名

長野しんきんビジネスクラブ主催イベント

2025年10月16日 木
15:00-19:00

ビジネスフォーラム & 交流会

～つながる世代、広がる地域のか～

経験豊富な経営者と未来を切り拓こうとする次世代経営者が一堂に会し、先輩経営者からリアルな経験を学び、次世代経営者との繋がりを育む機会を創出します。

長野しんきんビジネスクラブとは？

昭和62年に設立された長野信用金庫のお取引事業者さまを会員とする組織で、事業革新や新規事業開拓を促進し、会員事業者さまと地域社会の発展に貢献することを目的としています。

学びの部	
15:00-15:10	開会・主催者挨拶 浜野 隆一氏 (浜野製作所代表)
15:10-16:00	基調講演「逆境を力に変える町工場経営～商業危機からの復活と成長戦略～」 浜野 隆一氏 (浜野製作所代表)
16:00-16:45	パネルディスカッション テーマ「地域金融機関が創出する地元企業のエコシステム」 ファシリテーター：鈴木 智博氏 (インクダグロウ株式会社) パネリスト：浜野隆一氏、鈴木 弘一 (長野信用金庫 専務)

交流の部	
17:00-19:00	懇話会・交流会

浜野 隆一氏 (株式会社浜野製作所 代表取締役 CEO)

1962年東京都豊田区生まれ。大学卒業後、群馬県内の精密加工メーカーに就職。1993年創業。長野県での出会いがきっかけで、地元企業との関係を築き、設計・開発から多品種少量生産の精密加工、金型設計・製作等、幅広い業界業種の課題を解決。また、電気自動車 (HOKUSAI)、深層学習 (HOPPO1号) をはじめデジタル技術事業や、ものづくりイノベーションを支える開発拠点 (Garage Sumida) では、ベンチャー企業、大学・研究機関の連携支援を推進するコミュニティを構築。現在は「新たな元祖町工場型のものづくり」として、国内外から大きな注目を集めている。

インクダグロウ株式会社
代表取締役社長 鈴木 智博氏

長野信用金庫
理事長 鈴木 弘一

会場 THE SAIHOKUKAN HOTEL
(長野市中央本館 長野市東町328-1)
学びの部：本館2階「グランドホール」
交流の部：附属2階「サロン」

懇話会費 ￥5,000
(当日会場にてお申し込みいただけます)

申込方法 二次元コード または FAXによりお申込ください。
詳細は裏面にございます。

申込締切 2025年10月1日(水)

長野信用金庫 地域みらい応援部
長野しんきんビジネスクラブ 事務局
TEL: 026-228-0013 (代) 03
月～金 9:00～17:00
(土日・祝日も可)

◆ 波及効果と今後の課題

➤ 波及効果

- 「しんみせチャレンジ」参加者との取引深耕
- 創業者支援のノウハウ蓄積（ナレッジ資産の増加）
- インナーブランディング、アウターブランディング効果

➤ 今後の課題

- NAGANOまちづくり応援ファンドの活用強化
- 市町村窓口からのしんみせチャレンジ、創業カレッジへの誘致強化
- 北信まちづくりプラットフォームの更なる効果的な活用
- 学術機関との連携強化
- 営業者現場の疲弊感による創業支援マインドの低下懸念



◆ 検討会での課題と対応

➤ 事業拡大期における第2弾の資金調達について

- ➡ 日本政策金融公庫長野支店との融資案件(本業支援)に関する相互紹介制度の取り扱い開始
- 信州スタートアップ承継支援ファンドの活用
- 関東経済産業局主催の成長支援プログラムへの参加



➤ AI、デジタルツールの活用

- ➡ 次年度の「創業カレッジ」にて、「生成AI活用講座」の開催決定



➤ 恒常的な人手不足

- ➡ 関東経済産業局所管の「新現役交流会」の開催検討

